

コンパクトで使いやすく、
低ワットのハンダゴテでも吸い取りOK
残渣が少なくきれいに仕上がります

ESD*1 シェルは静電気対策された素材を使用。(接地抵抗 $R_g < 1 \times 10^{12} \Omega$)
(No.3734 除く)

用途に合わせて選べる線幅 0.9/1.3/1.5/2.0/2.5/3.8mm の 6 サイズを用意。



ハンダ吸取線をご使用の際は、30W以上のハンダゴテで加熱することをおすすめします。ただし、線幅0.9/1.3mmは熱容量の少ないハンダゴテでもお使いいただけます。

鉛フリーハンダ対応の吸取線

HS-380-1.5/2.0/2.5 ハンダ吸取線



熱伝導性に優れ、高性能フラックスの採用により鉛フリーハンダでの作業性が格段に向上しました。基板をいためずスピーディーに作業が完了します。

品番	線幅 mm	全長 m	ESD管理値 Ω	価格
HS-380-1.5	1.5	1.5	接地抵抗 $R_g < 1 \times 10^{12}$	453円 (420)
HS-380-2.0	2.0			507円 (470)
HS-380-2.5	2.5			540円 (500)



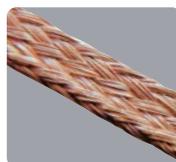
HS-380-2.5



HS-380-1.5



HS-380-2.0



HS-380-2.5

No.3736~3739 ハンダ吸取線



品番	線幅 mm	全長 m	ESD管理値 Ω	価格
No.3736	0.9	3	接地抵抗 $R_g < 1 \times 10^{12}$	712円 (660)
No.3737	1.3			410円 (380)
No.3738	2.5			421円 (390)
No.3739	3.8			507円 (470)



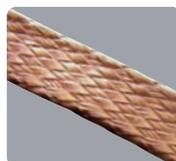
No.3738



No.3736



No.3737



No.3738



No.3739

■ お得な長尺タイプ

No.3734 ハンダ吸取線

3,520円 (3,260)

- 線幅：2.5mm
- 全長：15m

※ No.3738 の長尺タイプです。



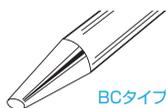
ハンダ吸取線について

ハンダ吸取線は間違った使い方をすると熱によって基板のパターンが剥がれたり部品を破損したりすることがあります。安全な吸い取り作業を行うには効率よく加熱し、長時間コテを当てたり必要以上に設定温度を上げたりしないことが重要です。次のポイントを参考に安全なハンダ吸い取り作業を行ってください。

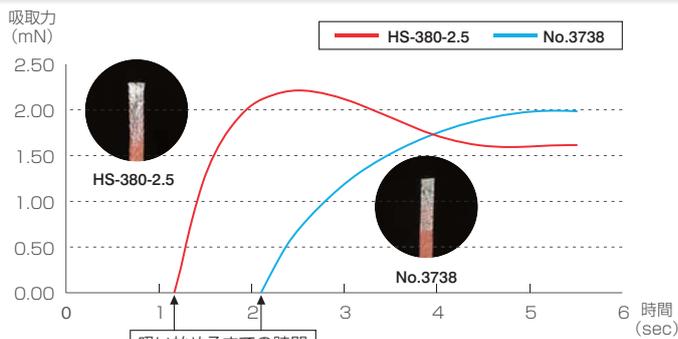
- ・ 吸取線の先端に少量のハンダをつける
- ・ フラックスの焦げつきや酸化皮膜のないコテ先を使用する
- ・ 使用した吸取線はカットして常に先端から使用する
- ・ コテ先は図のように接触面積が広く熱伝導の良い形状の物を使用する



Dタイプ



BCタイプ



HS-380 シリーズは鉛フリーハンダでもストレスなく作業が行えるハンダ吸取線です。グラフに示すとおり加熱を開始してから吸い取り始めるまでの時間が極めて短く、安心してご使用いただけます。最終的には、No.3738の方が多く吸い取ります。用途に応じてお選びください。

*1. ESD (Electro-static Discharge) は静電気対策のために帯電を緩和する素材を使用しています。